



在宅でのより良い褥瘡管理に向けた、 創傷の状態による適切な湿潤環境の提案

創の滲出液の量 〇〇〇〇 ~ 〇〇〇〇
無し 多量

創傷の状態	目的	在宅保険適用
壊死組織がある	壊死組織の除去	適用
感染創	感染の制御	
出血	止血作用	
ポケット・深さがある創	滲出液の管理	
クリティカル コロナイゼーション	細菌負荷低減	
肉芽形成から 上皮形成	滲出液の管理	適用
		適用 ※方法②の場合
発赤・痲瘋	保護と防水	適用外
脆弱皮膚・ ドライスキン	スキンケア	

製品群	創の滲出液の量	特徴
イントラサイト ジェル システム アブリパック	〇〇〇〇	カデックス® 軟膏0.9%
カデックス軟膏分包装 45mg, 153mg	〇〇〇〇	カデックス® 軟膏0.9%
アルゴダーム トリオニック	〇〇〇〇	シートタイプ ロープタイプ
マイクロリン	〇〇〇〇	軟膏処置時や 二次ドレッシングとして
マイクロリン	〇〇〇〇	医療用不織布 手術用被覆・ 保護材 (病院適用外)
ハイドロサイト ジェントル 箔	〇〇〇〇	ドレッシング材 (皮下組織に至る創傷)
ハイドロサイト ライフ	〇〇〇〇	ドレッシング材 (皮下組織に至る創傷)
ハイドロサイト AD プラス	〇〇〇〇	ドレッシング材 (皮下組織に至る創傷)
ハイドロサイト AD ジェントル	〇〇〇〇	ドレッシング材 (皮下組織に至る創傷)
レプリケア® ウルトラ	〇〇〇〇	ドレッシング材 (皮下組織に至る創傷)
ハイドロサイト 厚型	〇〇〇〇	ドレッシング材 (真皮に至る創傷)
レプリケア ET	〇〇〇〇	ドレッシング材 (真皮に至る創傷)
オプサイト® ジェントルロール	〇〇〇〇	フィルム材
オプサイト クイックロール 2way	〇〇〇〇	フィルム材
セキュア® シリーズ	〇〇〇〇	化粧品
セキュア CL	〇〇〇〇	化粧品
セキュア PO	〇〇〇〇	化粧品
セキュア DC	〇〇〇〇	化粧品
セキュア ML	〇〇〇〇	化粧品

在宅で特定保険医療材料を 保険請求する方法

方法① (在宅療養指導管理料 (原則3週間+α))

処置材料 (2週間基本、最大3週間)
例) 重症褥瘡なら、
重症褥瘡処置料+ハイドロサイト®

医師・療養指導士
スクリーン
在宅療養指導料 (原則3週間+α)

ハイドロサイトなどの創傷被覆材を医師が
外来、在宅で直接貼付

「皮膚欠損創傷被覆材」が使用される処置及び処置料の例示 (参考掲載)

期間	J000 創傷処置料	J001 創傷処置料	J001-4 重症褥瘡処置料 (日につき)
1	100cm ² 未満	52点	135点 90点
2	100cm ² 以上~500cm ² 未満	60点	147点 98点
3	500cm ² 以上~3,000cm ² 未満	90点	337点 150点

方法② (医療施設から供給)

在宅療養指導管理料 (原則3週間+α)

ハイドロサイトなどの
創傷被覆材を
医療施設から供給

重症褥瘡のみ適用
D3-D5
(D30H+H)

方法③ (院外処方せんで供給・平成26年改正)

(原則3週間+α)
ハイドロサイトなどの
創傷被覆材を
保険薬局から供給

院外
処方せん
保険薬局
材料費の保険請求も
保険薬局から

在宅療養指導管理料

重症褥瘡のみ適用
D3-D5
(D30H+H)

在宅でPICO創傷治療システム®を 保険請求できる症例と保険点数

※単回使用陰圧創傷治療システム

適応

既存治療に奏効しない、
或いは奏効しないと考えられる
難治性創傷

保険適用となる症例

- 外傷性裂開創(一時閉鎖が不可能なもの)
- 外科手術後離断創・開放創
- 四肢切断端開放創
- デブリードマン後の皮膚欠損創

診療報酬と特定保険医療材料

●処置および処置料

範囲	局所陰圧創傷治療材料で 処置すべき創傷部の広さ	J003-2 局所陰圧創傷処置 (入院外)	
		初回処置点数 (創傷材料含む)	処置回数 (1日につき)
1	100cm ² 未満	1,690点	240点
2	100cm ² 以上~200cm ² 未満	2,650点	270点
3	200cm ² 以下	3,300点	330点

※入院の場合には点数が異なりますのでお問合せください

●対象となる特定保険医療材料と償還価格

局所陰圧創傷治療用カートリッジ	19,800円
局所陰圧創傷治療用材料	18円/cm ²



上記は令和6年度診療報酬改定の情報に基づき作成しています。該当製品のご使用にあたっては最新の情報をご確認ください。参考:厚生労働省 診療報酬関連情報
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00045.html

